

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 年 月 日

アンケート回収率 7/10

事業所名: なでしこ

サービス種類: 児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	専門の療育室と運動場、遊戯室がある。	(はい7 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0)	
	2 職員の適切な配置	加配を取っている。	(はい6 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0)	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	写真や絵を使って構造化を行っている。個室を利用するなど利用児童によって必要な環境を整えている。	(はい7 どちらともいえない3 いいえ0 わからない0)	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	担当場所を決めての清掃や消毒を実施している。	(はい7 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0)	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	打ち合わせ時や会議時に問題点と不備な点を確認し、職員間での意見交換を行っている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	保護者へのアンケートの実施。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要に応じて他事業所への見学や研修などへの出席。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6ヶ月ごとにモニタリングの実施。家族との意見交換や児童からの意見も確認しながら支援計画を作成する。	・丁寧な対応をいただいている。 (はい6 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1)	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援と集団支援に分けて計画を作成している。		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	より具体的な内容を取り入れた計画を作成している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	ケース会議で検討しながら実施している。問題が大きい場合は、相談支援事業所や学校に相談し、機関連携会議などを実施している。	(はい7 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0)	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	それぞれの担当者がプログラムの内容を立案し、会議で検討し実施している。	・様々なプログラムに挑戦させてもらえてうれしく思っている。 (はい6 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0)	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇に応じたプログラムは行っていない。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動内容は大まかな流れは1カ月単位で作成し、詳細内容は担当者がプログラムを実施する。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝の打ち合わせでは、その日の予定や引継ぎ事項を確認し、午後から児童の来所前の打ち合わせで療育内容と引継ぎ事項、役割担当の確認をする。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日の日誌の記入と次の日の朝の会で引継ぎ事項の共有と、問題点があれば検討する時間を持っている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	引継ぎ事項や全体的な流れは日誌に記入し、個人の記録は各個人のケース記録に記入する。何かあれば翌日の朝の会で検討する。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月以内に家族に来所してもらい支援計画の見直しを行う。また、ラインや電話を有効活用しながら随時支援について確認を行う。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	主任又はケース担当者が担当者会議へ出席する。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	こども園や相談支援事業所などと情報を共有している。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	関係者会議などを通じて情報を共有したり、アドバイスを受けている。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	こども園に通っているのですが、事業所で実施はしていない。	・普段園に通っているのですが、活動機会があるため特に交流をお願いしていない。 (はい4 どちらともいえない1 いいえ0 わからない2)
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所見学会の日程は決めていたが、コロナウイルス感染拡大のため実施できていない。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用時の支援内容や負担額については月1回書面にて報告している。質問があればその都度対応している。	(はい7 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0)	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングのため来所された時に説明を実施している。それ以外に質問があればその都度対応している。	(はい7 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0)	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談があれば、その都度対応している。	・利用を初めてまだ2カ月なので行われているかわからない。 (はい4どちらともいえない0 いいえ1わからない2)	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	ラインや送迎時などを通して、日々の状況を伝えている。	(はい6 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0)	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合は、その都度対応している。内容によっては職員間で話し合い、共通認識を持てるようにする。	(はい6 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0)	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	・保護者同士集まる時間をもち相談し合える時間が欲しいです。 ・今のところ特に希望はないが、支援されているかわからない。 (はい1 どちらともいえない1 いいえ3 わからない2)	必要に応じて今後検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情相談窓口担当者を伝えている。苦情があった場合は、苦情受付書を作成し改善策考え、実施する。	(はい5 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1)	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵や写真を使って示したり、マグネットプレートを利用するなどして構造化をすることで伝わるようにしている。	(はい7 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0)	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	個別に対応している。	(はい4 どちらともいえない0 いいえ3 わからない3)	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報関係の書類は扉が付いた棚へ収納している。	(はい6 どちらともいえない0 いいえ0 わからない1)	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成している。	(はい6 どちらともいえない1 いいえ0 わからない0)	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回実施している。	・1時間の間ではその様な訓練をするのは難しいと思います。 (はい5 どちらともいえない0 いいえ0 わからない2)	
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新聞やニュースなどで事件発表時は職員で話をし、意識付けをしている。今後は研修にも出席検討。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケースなし。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	ケースなし。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成している。対応策を職員間で話し合い、実施している。		